在宅医療推進会議の意見を集約して 行った、「居宅等医療」の地域医療 計画への提言

国立長寿医療研究センター 総長 大島伸一

在宅医療推進会議 平成22年度

1 位置づけ

国立長寿医療研究センター総長が召集し、わが国における看取りまでを行える在宅医療を推進するための方 策について、関係者の意見を聴くための会。

会議の意見を基に、在宅医療推進方策について、国立長寿医療研究センター及び関係機関・関係者が実施す ると共に、必要に応じて、制度に反映させる等のために政策提言を行う。

2 メンバー

- •日本在宅医学会
- ・在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク
- ·日本在宅医療学会
- ・日本ホスピス・在宅ケア研究会
- ·尾道市医師会
- ・全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会
- ·全国国民健康保険診療施設協議会 ·日本訪問看護振興財団
- ・在宅医療助成 勇美記念財団 ・長寿科学振興財団 ・日本プライマリ・ケア連合学会

- ·日本老年医学会
- •日本医師会
- ·日本歯科医師会 ·日本薬剤師会 ·日本看護協会

- 国立がんセンター
- ・日本ホスピス緩和ケア協会
- ·高齡社会総合研究機構 ·日本介護支援専門員協会

佐藤 智 顧問

黒岩 卓夫 会長 城谷 典保 理事長

蘆野 吉和 理事

常任顧問

佐藤美穂子 常務理事

住野

祖父江逸郎 理事長前沢 政次 理事長

大内 尉義三上 裕司 理事長 常任理事

池主 憲夫 常務理事

岩月

坂本 すが 副会長

的場 元弘 医長山崎 章郎 理事長

辻 哲夫 教授 木村 隆次 会長

労国立長寿医療研究センタ・

在宅医療の体制構築に係る基本的な考え方

我が国の在宅医療の需要については、 患者側からのニーズが潜在的に大きいにもかかわらず、 その伸びは停滞している。 在宅医療は、地域に暮らす高齢者にとって、 介護等のサービスの提供体制と一体となって(多職種連携) 高齢期を安心して住みなれた場所で生活し (Aging in place) 人生の終局(終末期)においては本人・家族の希望等に応じた、 真に質の高いケアや支援を受けながら (End of life care) 穏やかな死を迎えることを可能にする医療である。 また、障害者、小児、難病患者にとっては、 日常、地域で生活していく上で (生活と一体となった医療)、 欠くことのできないものである。

ニーズ

本質的ニーズ:慢性医療における在宅医療の優位性 家で老い、家で病み、家で死ぬ

医療体制上のニーズ:

急性期病院、救急の動向 慢性期病院、介護施設の動向 認知症患者の急増 精神病院長期入院の課題